

強みを最大限に活かす 提案を実施

～蔵王温泉を盛り上げたい！～

山形県蔵王温泉地区にある老舗旅館、株式会社若松屋旅館様は、「当地の魅力を多くの人に知ってもらい、蔵王温泉を盛り上げたい」という想いがある一方で、旅館の集客数には季節変動があるという課題もお持ちでした。当行は社長様の想いに共感し、同社と蔵王温泉にゆかりのある「斎藤茂吉」を前面に押し出しPRすることを提案。協議を重ね、緑の美しい初夏に斎藤茂吉の誕生祭を開催したところ、全国から多数の旅行客が来場され、“冬季だけではない”蔵王温泉の魅力を多くの方に知っていただくことができ、集客増加にも繋げることができました。

好評につき、翌年もイベントを開催！

第2回目の「しやっこうさい赤光祭」開催にあたり、当行の本部も連携して新聞社に情報を提供し、集客増加に向けたお手伝いをしました。



山形新聞 2019年5月9日 21面



株式会社若松屋旅館 代表取締役 斎藤 長右衛門様

創業は明暦元年(1655年)で、きらやか銀行には長年お世話になっております。歌人である斎藤茂吉の縁戚に当たり、日本古来の文化である和歌(うた)をテーマに宿づくりをしております。東日本大震災や蔵王山の噴火警戒レベル引き上げによる風評被害に苦しめられた折も、本業支援を通してサポートしていただきました。現在も経営全般についてお手伝いいただいております。

想い

蔵王温泉の魅力を
多くの人に知ってもらい、
盛り上げたい

Point 1

計画の進捗・課題を共有

事業計画書に基づき進捗を共有する中で、旅館の集客数に季節変動があるという課題が浮き彫りになり、課題解決に向けた方策について検討・協議しました。

Point 2

強みを活かすPRを提案

同社と蔵王温泉にゆかりのある「斎藤茂吉」は旅館の特徴の一つであり、その特徴を前面に押し出すことを中心としたブランド化戦略を提案しました。

斎藤茂吉の誕生祭を開催！



蔵王温泉の四季折々の魅力を多くの方に知っていただくことを目的に開催した、斎藤茂吉の誕生を祝う「しやっこうさい赤光祭」は、樹木の保護活動を支援するチャリティーイベントでもあります。

担当者の声

当行は、若松屋旅館様より長年お取引いただいております。同社を含め蔵王温泉地区全体をさらに盛り上げるため、これからも様々な本業支援を展開してまいります。

きらやか銀行 本店営業部
安藤 正宏 代理



ビジネスマッチングで 新商品開発を支援

～コラボ商品誕生！～

仙台市で和菓子の製造販売を手掛ける有限会社 つつみ屋様は、かねてより、地元の食材を使用したお菓子を作りたいと考えており、近年話題の食材「藻塩」を使った大福の商品開発に取り組まれました。



Point 1 藻塩の仕入れ先を紹介

藻塩大福の開発にあたり、同社の小原社長より、藻塩の仕入れ先を探しているとの話があったことから、営業店・本部が連携し、塩釜市で海産物の加工販売を行う株式会社シーフーズあかま様を紹介しました。

その結果、ビジネスマッチングが成立し、2社によるコラボ商品「藻塩大福」の商品化に至りました。



藻塩ずんだ大福 藻塩くるみ大福

Point 2 商品のPR方法をアドバイス

藻塩大福の販売にあたっては、業務提携先と連携のうえ、PR方法として、プレスリリースの活用を提案しました。

その結果、同商品は新聞記事に取り上げられ、PR効果もあり、新商品の販売は好調となっています。



プレスリリース



有限会社つつみ屋 常務取締役 小原 学様

新商品として「藻塩大福」を検討するにあたり、原材料の藻塩を提供してくれる事業者様をご紹介いただきました。

情報を提供するだけでなく、しっかりと両者の間に立って円滑な取引のサポートをしていただき非常に助かりました。

今後も、単なる金融機関ではない、地元の発展を応援する潤滑油のような存在としてあり続けていただければと思います。

株式会社シーフーズあかま 代表取締役社長 赤間 俊介様

弊社が「しおがまの藻塩」を開発してから12年になり、これまで梅や柚子・バジル等を使った香り藻塩を商品化いたしました。

東日本大震災後、販路先開拓に苦悩する中、仙台銀行の仲介により「藻塩大福」が商品化されました事に感謝を申し上げるとともに、つつみ屋様の商品開発に対する探究心に敬意を表します。



担当者の声

今回、このような素敵な出会いに携われたこと、またこれにより新商品が開発できたことを大変嬉しく思っております。

今後も、お客さまの想いを実現するため、営業店・本部が連携し、財務面だけではなく様々な経営課題の解決へ向けたサポートを行ってまいります。

仙台銀行
地元企業応援部
齋藤 智彦 代理

